

100歳おめでとう！おめでとう！

久保田 延春さん

(大正13年3月12日生まれ)

延春さんは、十島区上に3男2女の長男として生まれました。

昭和25年に陵草区中沢の望月さゆ子さんと結婚し、3人のお子様に恵まれました。

現在は、グループホーム南部の郷でお元気に過ごされています。

本当におめでとございます。



これからも元気で過ごしてください

石川県珠洲市へ 二度目の災害派遣を行いました

本町では、能登半島地震の被災地支援を行うため、山梨県の職員応援派遣の第14班として、二度目の災害派遣を行いました。3月3日から9日までの7日間、職員1名を被災地に派遣し、山梨県の支援先である石川県珠洲市の物資拠点「珠洲市立健民体育館」にて被災地支援のための活動をしました。

◆派遣職員の声(企画課 佐野良輔副主査)

自衛隊や、他県・県内他市町村職員、また専門分野の事業者等と合同で行う支援活動の中で感じたことは、有事の際、いかにスムーズに町と外部との連携支援体制を構築できるかが、自治体としての生命線となるということです。派遣先の体育館内で寝泊まりをしましたが、期間中は特に冷え込んだ時期であったため、寒さ対策の重要性を身をもって体感することとなりました。また支援活動の際、被災者の方々に直接お話を聞かせていただく機会も多く、(町民の皆様も日頃からご自宅にお備えいただいていることと思いますが)生命線である食料や飲料水、LEDライトや着火用ライター等はもちろんのこと、水道が使えない状況下で必ず不足する物資となる「トイレ・衛生用品」「生理用品」「下着等の衣類」については特に、常日頃から十分に備蓄しておくことが必要であると痛感しました。



企画課
佐野良輔副主査



物資支援の様子

富士川かりがね橋が開通しました

令和6年3月9日(土)に『富士川かりがね橋』開通式典が行われ、同日より供用が開始されました。

これにより、富士川橋周辺の通勤通学時や経済活動での慢性的な渋滞を緩和することも、静岡県と南部町を含めた峡南地域との広範囲での交流の活性化、災害発生時の緊急輸送路の補完など、様々な面で活用に寄与されるものになると期待されます。

富士川かりがね橋の開通により、富士市方面との交流が更に深くなり、南部町に様々な面での好影響が生まれることを期待しております。



開通式の様子